

健康管理センターだより No.18

ABC検診とは？

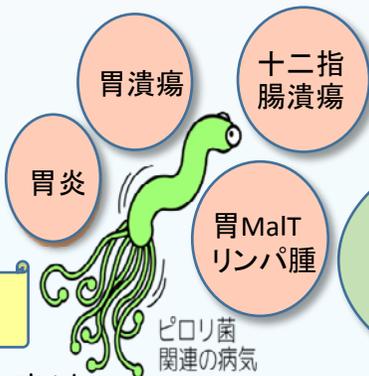
ABC検診は胃がんの早期発見に繋がります！

血液検査にてピロリ菌に対する抗体と胃から分泌されるペプシノーゲンを測定し、胃がん発生リスクを分類・評価する検診です。

※すでにピロリ菌を除菌された方、胃を一部でも切除された方は正確な判定値がでないため、おすすめしません。

ピロリ菌とは？

正式名はヘリコバクターピロリ。慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどの原因になることがわかっています。



ピロリ菌はみんなにいるの？

全ての人の胃にいるわけではありません。年々減少し若い世代では低くなっています。



なぜ、ピロリ菌に感染するの？

主に口から感染します。幼少期の感染が原因だと言われています。最近では、日本の生水を飲んでも感染は起こらないと考えられています。



ペプシノーゲン法
胃がんのリスクとなる萎縮性胃炎の程度を調べる検査。

ピロリ菌抗体検査
血中の抗体価を調べピロリ菌の感染の有無を調べる検査。

胃がんを診断する検査ではありません



ピロリ菌陽性であった場合

陽性 → 消化器科又は胃腸科へ受診 → 内視鏡検査実施 → 除菌(内服治療)

陰性：除菌成功 ← 除菌が出来たか再検査



除菌前に内視鏡検査を行い、胃の状態を観察していきます。陰性の場合、それ以降ピロリ菌検査は必要がないと言われています。

ピロリ菌の検査方法

- 血液検査
- 尿素呼気検査
- 検便
- 尿検査
- 内視鏡検査

当センターでは血液検査で調べます。

除菌後は定期的に胃の検査はするの？

除菌に成功しても、胃がんなどの病気にならないわけではありません。ピロリ菌に感染している期間が長いと、胃の粘膜が正常に戻るまでに時間がかかります。除菌後も定期的に内視鏡検査などを受け、胃の状態を確認しましょう。